

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 121	提案機関名 秦野市農業協同組合 営農経済部 営農課
要望問題名 切り花の簡易な日持ち検査方法の開発について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 近年の切り花栽培農家経営における出荷先は、市場出荷に留まらず、直売や量販店との契約出荷等の多岐にわたっている。都市近郊である立地を生かした販売を進める中で、花の日持ち性（新鮮さ）の優位を長所として販売戦略を構築していきたいと考える。外部の専門業者で評価してもらう方法が一般的だが、JA等の施設において日持ち性の評価ができるような簡易な検査方法を開発・定義してほしい。 (バラ、カーネーション、露地小菊、ケイトウ、ヒマワリ等を想定)	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	切り花の日持ち性につきましては、農研機構花き研究所において数多くの研究が行われ、作物毎の対応方法が明らかになっています。これらは現在「日持ち保証に対応した切り花の品質管理マニュアル」として公開されています。 また、一般財団法人日本花普及センターが行う切り花日持ち試験認証事業において、品目別評価基準及びチェックシートが公開されています。試験室の環境条件を同一にすることが困難なことが想定されますが、上記の情報を参考に現地での指導対応とさせていただきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			